

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

※グレーアウトの項目は審査の対象外

審査 対象	審査項目		作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点							
					持分	重要	A	B	C	D	評価点	
提 案 書 類	1	調達案件名										
	2	契約期間										
	3	調達案件の概要	（１）概要	本業務の実施に当たって、「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づく国の基準に適合したシステム構築を行う基本姿勢を示すこと。 本市のめざす姿や現状を理解した上で、本業務に対する基本姿勢を示すこと。		・標準化対応のことを十分理解した方針が示されているか。 ・本市のめざす姿や現状を十分理解した提案となっているか。 ・具体的な考え方や取組が整理されていて、当該取組が本市の期待を充足する提案となっているか。	大	50	35	15	0	（50点）：非常に優れている （35点）：優れている （15点）：やや不十分である （0点）：不十分である
			（２）学事・援助金システムの再構築とガバメントクラウドの利用									
			（３）学事・援助金システムの概要									
			（４）システムの調達範囲									
	（５）スケジュール概要	標準化対応（構築・運用保守）に関するスケジュールを工程ごとに具体的に示すとともに、本市職員や関連ベンダー等が具体的に関与することが必要となる作業工程・時期を示すこと。	・文部科学省が発出した省令・告示（以下「省令等」という。）に則り、令和10年4月1日までの新システム稼動を含め、本市が示すスケジュールに沿っているか。 ・各工程の期間が詳細化されているか。 ・本市の繁忙期を考慮したスケジュールとなっているか。 ・スケジュールの提案にあたり、スケジュールの前提となる調整事項や想定される課題の対応方針が記載されているか。 ※省令等で示された令和10年4月1日までに新システムを稼動するスケジュールでない提案の場合は失格（除外）とする。	中	30	20	10	0	（30点）：非常に優れている （20点）：優れている （10点）：やや不十分である （0点）：不十分である			
	（６）作業概要	各作業工程に対しての取り組みを示すこと。	・各作業工程に対する取り組みが具体的に示されているか。 ・職員の負荷軽減が図れる取り組みとなっているか。									
	（７）納入成果物及び期日											

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

※グレーアウトの項目は審査の対象外

審査 対象	審査項目		作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点						
					持分	重要	A	B	C	D	評価点
	4	システム要件	省令等に対する対応方針を示すとともに、対応方針に対する事業者としての考え方を示すこと。 省令等で示された標準化基準の内容を踏まえて、本稼動時に準拠する標準仕様書（機能・帳票・連携）の版数を示すこと。	・省令等を十分に理解した提案であり、省令等に準拠するための具体的な方針が示されているか。 ・省令等で示された標準化基準を踏まえた版数に準拠する方針が示されているか。 ・将来的な標準仕様書の改版を想定した事業者としての考え方が示されているか。 ※稼動時に省令等で示された以下の標準化基準に準拠できない提案の場合は失格（除外）とする。 ○機能要件・帳票要件⇒学齢簿：第4.0版、就学援助：第4.1版 ○連携要件⇒学齢簿：第4.0版、就学援助：第7.0版（総論：4.1版）							(50点)：非常に優れている (35点)：優れている (15点)：やや不十分である (0点)：不十分である
		(1) 機能要件	様式9－1_機能要件対応可否回答表（学齢簿システム）及び様式9－2_機能要件対応可否回答表（就学援助システム）の、実装区分が「実装必須機能」と「実装不可機能」の機能に対する実装予定を示すこと。	・実装区分が「実装必須機能」の機能に対する回答結果（対応可否）が「◎（パッケージ標準で対応可能）」、「○（疎結合等で対応可能）」又は「△（代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。また、「◎（パッケージ標準で対応可能）」以外の回答の場合、詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。 ・実装区分が「実装不可機能」に対する回答結果（対応可否）が「×：実装不可」となっているか。 ※実装区分が「実装必須機能」の機能に対する回答結果（対応可否）に「×：実装不可」が含まれる場合、または、実装区分が「実装不可機能」に対する回答結果（対応可否）に「×：実装不可」以外が含まれる場合は失格（除外）とする。							(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			様式9－1_機能要件対応可否回答表（学齢簿システム）及び様式9－2_機能要件対応可否回答表（就学援助システム）の、実装区分が「標準オプション機能」の機能に対する実装予定を示すこと。	・実装区分が「標準オプション機能」のうち、「標準オプション機能の実装希望」が○の機能に対する回答結果が「◎（パッケージ標準で対応可能）」、「○（疎結合等で対応可能）」又は「△（代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。また、「◎（パッケージ標準で対応可能）」以外の回答の場合、詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。							(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

※グレーアウトの項目は審査の対象外

審査 対象	審査項目			作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点						
						持分	重要	A	B	C	D	評価点
				様式 9－3_機能要件対応可否回答表（特別支援システム）の機能要件に対する実装予定を示すこと。	・機能要件に対する回答結果（対応可否）が「◎（パッケージ標準で対応可能）」、「○（カスタマイズ等で対応可能）」又は「△（代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。また、「◎（パッケージ標準で対応可能）」以外の回答の場合、詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。		中	30	20	10	0	(30点)：非常に優れている (20点)：優れている (10点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			(2) 帳票要件	様式10－1_帳票要件対応可否回答表（学齢簿システム）及び様式10－2_帳票要件対応可否回答表（就学援助システム）の、実装区分が「実装必須機能」の帳票に対する実装予定を示すこと。	・実装区分が「実装必須機能」の帳票に対する回答結果（対応可否）が「◎（パッケージ標準で対応可能）」、「○（外部ツール等で対応可能）」又は「△（代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。また、「◎（パッケージ標準で対応可能）」以外の回答の場合、詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。 ※実装区分が「実装必須機能」の帳票に対する回答結果（対応可否）に「×：実装不可」が含まれる場合は失格（除外）とする。		小	15	10	5	0	(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である
				様式10－1_帳票要件対応可否回答表（学齢簿システム）及び様式10－2_帳票要件対応可否回答表（就学援助システム）の、実装区分が「標準オプション機能」の帳票に対する実装予定を示すこと。	・実装区分が「標準オプション機能」のうち、「標準オプション機能の実装希望」が○の帳票に対する回答結果が「◎（パッケージ標準で対応可能）」、「○（外部ツール等で対応可能）」又は「△（代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。また、「◎（パッケージ標準で対応可能）」以外の回答の場合、詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。		小	15	10	5	0	(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である
				様式10－3_帳票要件対応可否回答表（特別支援システム）の帳票要件に対する実装予定を示すこと。	・帳票要件に対する回答結果（対応可否）が「◎（パッケージ標準で対応可能）」、「○（カスタマイズ等で対応可能）」又は「△（代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。また、「◎（パッケージ標準で対応可能）」以外の回答の場合、詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。		中	30	20	10	0	(30点)：非常に優れている (20点)：優れている (10点)：やや不十分である (0点)：不十分である
				様式11_独自帳票要件対応可否回答表の帳票要件に対する実装予定を示すこと。	・独自帳票要件に対する回答結果（対応可否）が「○（EUCで対応可能）」又は「△（EUC以外の代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。また、「△（EUC以外の代替案で対応可能）」の回答の場合、詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。 ・独自帳票要件のうち、重要度「A」を優先的に実現する提案が示されているか。		小	15	10	5	0	(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

※グレーアウトの項目は審査の対象外

審査 対象	審査項目			作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点						
						持分	重要	A	B	C	D	評価点
			（３）連携要件	「データ要件・連携要件標準仕様書各論（基本データリスト・機能別連携仕様）」の機能別連携仕様の実装類型が◎（必須）の要件に対する対応方針を示すこと。	・「データ要件・連携要件標準仕様書各論（基本データリスト・機能別連携仕様）」の機能別連携仕様の実装類型が◎（必須）の要件を実現する方針が具体的に示されているか。 ・将来導入予定の連携システムとの連携を実現するための方針が具体的に示されている。 ※実装類型が◎（必須）の要件を全て実装する提案でない場合は失格（除外）とする。	980	小	15	10	5	0	（15点）：非常に優れている （10点）：優れている （5点）：やや不十分である （0点）：不十分である
				様式12_連携要件対応可否回答表の連携要件に対する実装予定を示すこと。	・連携要件に対する回答結果（対応可否）が「○（実現可能）」又は「△（代替案で対応可能）」のいずれに該当するか。「○（実現可能）」又は「△（代替案で対応可能）」の回答において、必要に応じて詳細な実現方法や補足事項が具体的に示されているか。		中	30	20	10	0	（30点）：非常に優れている （20点）：優れている （10点）：やや不十分である （0点）：不十分である
				本市のオブジェクトストレージ（Amazon S3）を活用した連携の実現方法を示すこと。	・本市のオブジェクトストレージ（Amazon S3）を利用した連携の実現方法が具体的に示されているか。 ・「吹田市新共通基盤システム構築（標準化対応）利用ガイドライン（標準連携用オブジェクトストレージ機能）」や「吹田市新共通基盤システム構築（標準化対応）利用ガイドライン（認証認可機能）」等に沿った対応とする方針が示されているか。		中	30	20	10	0	（30点）：非常に優れている （20点）：優れている （10点）：やや不十分である （0点）：不十分である
	5	非機能要件	（１）非機能要件の標準	様式13_非機能要件対応可否回答表の要件の実現に向けた方針について示すこと。	・非機能要件で本市が選択した選択レベルを実現する方針となっているか ・本市が選択した選択レベルを下回る方針の場合には、下回るレベルを選択した理由が具体的に示されているか。 ※グレーアウトしたレベルが選択されている場合は、失格（除外）とする。		中	30	20	10	0	（30点）：非常に優れている （20点）：優れている （10点）：やや不十分である （0点）：不十分である
			（２）規模要件									
			（３）ログイン要件	ログイン要件への対応を示すこと。	・ログイン要件を満たす提案となっているか。 ・「吹田市新共通基盤システム構築（標準化対応）利用ガイドライン（認証ポータル機能）」等に沿った対応とする方針が示されているか。		中	30	20	10	0	（30点）：非常に優れている （20点）：優れている （10点）：やや不十分である （0点）：不十分である

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

※グレースアウトの項目は審査の対象外

審査 対象	審査項目		作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点							
					持分	重要	A	B	C	D	評価点	
	6	情報システム稼動環境要件	（１）ガバメントクラウド	ガバメントクラウド上の構成及びネットワーク構成を明確に示すこと。加えて、それぞれの責任分界点を示すこと。 ガバメントクラウド運用管理補助者が提供する管理メニューや利用方式について示すこと。	・ガバメントクラウド上の構成及びネットワーク構成が明確に示されているか。加えて、それぞれの責任分界点が明確に示されているか。 ・ガバメントクラウド運用管理補助者として提供する管理メニューや利用方式についての提案がされているか。 ・本市のオブジェクトストレージ（Amazon S3）へアクセスするためのIAMロールの作成や接続のための環境に対する提案があるか。		大	50	35	15	0	(50点)：非常に優れている (35点)：優れている (15点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（２）ネットワーク要件									
			（３）クライアント端末・周辺機器要件	クライアント端末・周辺機器要件、開発要件、ソフトウェア要件に対応した実現方法を示すこと。	クライアント端末・周辺機器要件、開発要件、ソフトウェア要件に対応した実現方法が具体的に示されているか。		小	15	10	5	0	(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（４）開発要件									
			（５）ソフトウェア要件									
			（６）文字管理要件	文字要件の標準に対する対応方針を示すこと。	・文字要件の標準に対する対応方針が具体的に示されているか。 ・「吹田市新共通基盤システム構築（標準化対応）利用ガイドライン（外字配信機能）」等に沿った対応とする方針が示されているか。		中	30	20	10	0	(30点)：非常に優れている (20点)：優れている (10点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（７）印刷要件	印刷要件に対応した実現方法を示すこと。	・印刷要件に対応した提案となっているか。 ・「吹田市新共通基盤システム構築（標準化対応）利用ガイドライン（共通印刷機能）」等に沿った対応とする方針が示されているか。		小	15	10	5	0	(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（８）ダウンリカバリ要件	ダウンリカバリ要件に対応した実現方法を示すこと。	・ダウンリカバリ要件に対応した提案となっているか。 ・ダウンリカバリ環境を構築する対応の場合、本番環境復旧までに最低限の住民サービスを維持・提供するための縮退機能の提供や代替案が提案されているか。		小	15	10	5	0	(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である
	7	テスト要件	（１）テスト方法	各種テスト、総合テスト、及び受入（運用）テストにおける実施方針を示すこと。 各テスト工程における本市と提案者との役割分担を具体的に示すこと。	・各テストの実施方法が具体的に示されているか。 ・本市と提案者の役割分担が具体的に示されているか。 ・職員の負荷軽減が十分図れる方法となっているか。 ・他システムとの連携テストにおける連携対象となるシステムの開発及び運用保守事業者との調整方法が具体的に示されているか。		中	30	20	10	0	(30点)：非常に優れている (20点)：優れている (10点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（２）テストデータ									

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

※グレーアウトの項目は審査の対象外

審査 対象	審査項目			作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点						
						持分	重要	A	B	C	D	評価点
	8	移行要件	（１）移行計画の策定	新システムへの移行方法、及び、確実かつ安定的に実施するための方針を示すこと。 移行データの確認作業における本市と提案者との役割分担を具体的に示すこと。	・新システムへの移行方法が具体的に示されているか。 ・移行を確実かつ安定的に実施できる方針であるか。 ・職員の負荷軽減が十分図れる方法となっているか。 ・本市と提案者の役割分担が具体的に示されているか。		大	50	35	15	0	(50点)：非常に優れている (35点)：優れている (15点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（２）移行対象データ									
			（３）リハーサルの実施									
			（４）移行プログラムなどの作成									
			（５）データ移行の実施									
			（６）その他データ移行詳細条									
			（７）移行データの検証									
			（８）新システム稼動後の移行									
	9	運用保守要件	（１）運用保守設計	問い合わせ対応、遠隔保守、サービスレベルの設定、障害対応等、新システム一式に関する運用保守作業の設計方針を示すこと。	・問い合わせ対応、遠隔保守、サービスレベルの設定、障害対応等、新システム一式に関する運用保守作業の設計方針が具体的に示されているか。 ・運用にあたって職員の負荷軽減を図る工夫がされているか。		大	50	35	15	0	(50点)：非常に優れている (35点)：優れている (15点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（２）システムバージョンアップ									
			（３）業務改善									
			（４）業務の引継ぎに関する要件									
	10	実施体制	（１）プロジェクトマネージャー （２）品質管理責任者 （３）プロジェクトリーダー （４）プロジェクトメンバー	本業務の実施体制及び各メンバーの保有資格を具体的に示すこと。	・適切な実施体制となっているか。 ・メンバーが役割に応じた資格を保有しているか。		小	15	10	5	0	(15点)：非常に優れている (10点)：優れている (5点)：やや不十分である (0点)：不十分である
				本業務のメンバーの過去に携わった中核市以上の学事・援助金システムの構築・運用保守の実績を示すこと。	・メンバーが過去に中核市以上の学事・援助金システムの構築・運用保守経験を持っているか。							(30点)：非常に優れている (20点)：優れている (10点)：やや不十分である (0点)：不十分である

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

※グレーアウトの項目は審査の対象外

審査 対象	審査項目		作成（実施）における注意点	審査ポイント	評価配点													
					持分	重要	A	B	C	D	評価点							
	11	プロジェクト管理方法	（１）管理方法	・本業務の各工程における管理方法（進捗管理、品質管理、課題管理、会議体管理、ドキュメント管理等）を具体的に示すこと。 ・本市との円滑なコミュニケーション及び進捗状況の管理を効率的に行うための方法を示すこと。	・本プロジェクトにおける管理方法（進捗管理、品質管理、課題管理、会議体管理、ドキュメント管理等）が示されているか。 ・各工程（構築の各工程、運用保守工程）で管理方法を使い分けているか。 ・本市との円滑なコミュニケーション及び進捗状況の管理を効率的に行うための方法が具体的に示されているか。		中	30	20	10	0	(30点)：非常に優れている (20点)：優れている (10点)：やや不十分である (0点)：不十分である						
			（２）作業場所															
			（３）作業時間															
	12	その他	（１）著作権										大	50	35	15	0	(50点)：非常に優れている (35点)：優れている (15点)：やや不十分である (0点)：不十分である
			（２）法改正対応・標準仕様書群改版時の対応	法改正・標準仕様書群改版時に対する提案システムの改修に関する対応方針及び費用負担の軽減に資する手段（システム保守の範囲で対応、同一パッケージを利用する他自治体との費用負担按分等）を示すこと。	・提案システムについて法改正対応時・標準仕様書群改版時の改修に関する対応方針及び費用負担の軽減に資する手段（システム保守の範囲で対応、同一パッケージを利用する他自治体との費用負担按分等）が具体的に示されているか。													
			（３）個人情報の取り扱い															
			（４）再委託	再委託の有無を示すこと。 有の場合には、再委託先、再委託の範囲や対象業務、再委託先の監理に関することを示すこと。	・再委託をしない提案であるか。 ・再委託をする提案の場合、再委託の範囲や対象業務、再委託先に対する適切な監理がされる提案となっているか。													
			（５）適合性の確認	標準化基準の適合性の確保に対する対応を示すこと。 本市における適合性の確認への支援方針を示すこと。	・標準化基準の適合性の確保に対する方針が具体的に示されているか。 ・本市の適合性の確認時の負荷を軽減する支援方針が示されているか。													
	13	自由提案	創意工夫事項・追加提案	提案者が想定する職員の業務効率化、負荷軽減に繋がる先端技術の活用の対象業務及び方法や中長期的な展開も視野に入れた創意工夫があれば提案すること。 他自治体における類似案件の知見やノウハウを活かした追加提案があれば提案すること。	・先端技術を活用し、職員の業務効率化、負荷軽減などに繋がる有益な提案となっているか。 ・中長期的な展開も視野に入れた提案がされているか。 ・他自治体における類似案件の知見やノウハウが本業務を実施するにあたり有用であるか。								大	50	35	15	0	(50点)：非常に優れている (35点)：優れている (15点)：やや不十分である (0点)：不十分である
小計						980		980	665	315	0							

吹田市学事・援助金システム標準化対応（再構築・運用保守）業務 審査評価項目

審査 対象		審査項目	作成（実施）における注意点	審査ポイント	※グレースアウトの項目は審査の対象外 評価配点						
					持分	重要	A	B	C	D	評価点
見積金額			本業務を遂行するうえで必要となる費用を記載すること。	見積金額の低い提案をより高く評価するように採点する。 提案者中の最低見積金額（円）（税抜）を当該提案者の見積金額（円）（税抜）で除し、評価配点200点を乗じたものを評価点とする。（小数点以下は切り捨てる。）	200						
プレゼンテーション・ヒアリング			提案書及びプレゼンテーションを実施し、また本市からのヒアリングに回答すること。	・プレゼンテーションについてはプロジェクトマネージャーが行うこととし、プロジェクトマネージャーの能力を評価する。 ・学事・援助金システム再構築方針等を理解し、論理的な説明ができているか。 ・質問に対する的確な回答ができているか。	150		150	100	50	0	（150点）：非常に優れている （100点）：優れている （50点）：やや不十分である （0点）：不十分である
			小計		350		150	100	50	0	
			合計		1,330						

- 【評価配点凡例】
- A： 有効な提案者独自の追加提案がある等非常に優れた提案である。
 - B： 優れた提案である。
 - C： やや不十分な提案である。
 - D： 不十分な提案である（提案がない場合を含む。）。